

# 弘前大学学報



留学生によるねふた制作の様子

第 124 号  
平成26年7月号

**学内ニュース**

○第一回市民ボランティア講座	
「災害ボランティア-KOBEから東日本へ、そして」開催	----- 1
○弘前大学出版会設立10周年記念講演会・祝賀会を開催	----- 2
○第2回弘前大学COI特別講演会を開催	----- 3
○平成26年度弘前市私費留学生就学援助金	
支給決定書授与式に留学生が参加	----- 4
○第5回弘前大学出版会賞表彰式を举行	----- 5
○食料科学研究所と深浦町との間で連携・協力に関する協定を締結	----- 6
○平成26年度「科学者発見プロジェクト」	
テーマ賞表彰式及び第6回共同研究体験発表会を開催	----- 7
○「入試改善のための講演会」を開催	----- 8

<b>諸 会 議</b>	----- 9
--------------	---------

**人 事**

○人事異動	----- 11
-------	----------

<b>主要日誌</b>	----- 13
-------------	----------

<b>学内規則</b>	----- 14
-------------	----------

## 第一回市民ボランティア講座 「災害ボランティア-KOBEから東日本へ、そして」開催

ボランティアセンターは、7月4日（金）、弘前市との共催で、第一回市民ボランティア講座「災害ボランティア-KOBEから東日本へ、そして」を、創立60周年記念会館コラボ弘大8階八甲田ホールで開催しました。当センターでは、東日本大震災発生直後から、市民、教職員、学生が一体となり「チーム・オール弘前」として継続して岩手県野田村でボランティア活動を行っており、市民ボランティア講座を開催し、少しでも多くの市民や学生にボランティア活動の実状と重要性を幅広く理解してもらうことで、ボランティア活動へ積極的に参加していただくことを目指しています。

当日は、31名が参加し、李副センター長より開催の挨拶の後、大阪大学大学院人間科学研究科渥美公秀教授から「災害ボランティア-KOBEから東日本へ、そして」と題した講演が行われました。

これまで渥美教授は、東日本大震災発生後から、岩手県野田村の被災地でボランティア活動を継続的に行っており、李副センター長とともに多くのボランティア活動に携わってこられました。

講演では、被災地・被災者へのボランティアには、効率性よりも被災者の生活を優先することの重要性や、被災者とのコミュニケーションの仕方、ボランティア活動を続けることの大切さ、生活に埋め込まれた防災、目に見えない防災活動に焦点をあてることなど、渥美教授がこれまで災害ボランティア活動を通して得てきた知見を基に様々な情報が提供されました。

さらに講演後は、今後のボランティア活動について、本学がどのようなアプローチをしていけばよいかなど意見交換が行われました。



大阪大学渥美教授による講演の様子



---

## 弘前大学出版会設立１０周年記念講演会・祝賀会を開催

出版会では７月４日（金）、「弘前大学出版会設立１０周年記念講演会・祝賀会」を創立５０周年記念会館１階「みちのくホール」で開催しました。

講演会では佐藤学長の挨拶後、足達編集長から出版会１０年の歩みや記念書籍「弘前大学で見つけた一〇七の言の葉ノート」の紹介が行われました。

続いて記念講演として、亀山 郁夫名古屋外国語大学学長が「還暦の太宰」と題し、養老 孟司東京大学名誉教授が「本の未来」と題し、それぞれ講演を行いました。著名な講師２名の講演会ということで、会場には学生・教職員だけでなく、多くの一般市民を含む３００名を超える来場者があり、立ち見も困難となるほどの大盛況となりました。

引き続き、２階「岩木ホール」に場所を移して祝賀会が行われました。これまでの出版会刊行物の執筆者や創設当時を知る教職員等約６０人が集まり、設立１０周年を祝いました。



熱心に聞き入る来場者



養老 孟司氏による講演



亀山 郁夫氏による講演

---

## 第2回弘前大学COI特別講演会を開催

7月8日（火）、大学院医学研究科基礎大講堂において、京都大学大学院医学研究科附属ゲノム医学センター長の松田文彦先生を講師にお招きし、「京都大学のCOI戦略 ～ながはまコホートと地域に根ざした未来型健康づくりの試み～」と題した特別講演会を開催しました。本講演会は、文部科学省の「革新的イノベーション創出プログラム(COI STREAM)」に採択された、本学と企業及び自治体等で組織する「脳科学研究とビッグデータ解析の融合による画期的な疾患予兆発見の仕組み構築と予防法の開発」をテーマとした研究拠点の活動を推進するにあたり、コホート研究についての理解をより深めること等を目的としたもので、今回が2回目となります。講師の松田先生は、京都大学のCOI拠点「活力ある生涯のためのLast5Xイノベーション拠点」で、病気の超早期発見と発症前の治療を組み合わせて、健康で活力ある長寿社会の構築を目指す「予防・先制医療グループ」の中心で研究されています。

講演会では、主に「ながはま0次予防コホート事業」について、実施団体であるNPO法人「健康づくり0次クラブ」の立ち上げ、自治体や医療機関との連携、大量の個人情報を取り扱う上での社会的合意の形成など、コホート研究における課題について実際の取り組みを交えながらご紹介いただき、また、ベースラインデータから得られたゲノム情報項目を含む横断的解析結果について、図表を用いて解説いただきました。

約80名の一般の方、学生や教職員、企業等関係者が聴講し、講演会終了後にも松田先生に個別に質問を行い、熱心に知識を深めていました。



松田先生による講演



中路研究リーダーによる挨拶



会場の様子



聴講者による質問の様子

---

## 平成26年度弘前市私費留学生就学援助金 支給決定書授与式に留学生が参加

7月9日（水）、弘前市役所において平成26年度弘前市私費留学生就学援助事業採用者を対象とした、今年度前期分の就学援助金の支給決定書授与式が行われ、本学から全採用者39名のうち6名の学生、および戸塚教育学部長が出席しました。

授与式では、葛西弘前市長から出席学生全員に支給決定書が手渡され「地域に出て、弘前への愛着を深めていただき、弘前の魅力を母国に発信していただきたい」と挨拶がありました。その後、留学生を代表して人文社会科学研究科1年生の闫 博厦さん、および戸塚教育学部長より謝辞が述べられました。



授与式出席者による記念撮影  
(前列（右から）：戸塚教育学部長、葛西弘前市長、  
工藤学生課長)



代表者による挨拶



---

## 第5回弘前大学出版会賞表彰式を举行

出版会では、平成23年1月から平成25年12月までに同出版会から刊行された33作品の中から優れた作品を選考会議において選定し、6月28日（土）に「第5回弘前大学出版会賞」として発表を行いました。今回の受賞作品には弘前大学附属図書館編『複製 太宰治自筆ノート』、尾野七星『まいまいさんとなめくじさん』の2作品が選ばれました。

7月14日（月）、同大学において表彰式が行われ、佐藤学長をはじめ、学内外の関係者が列席した。各受賞作品の著作者には、足達出版会編集長から記念の光学ガラス製オーナメントが贈られました。

平成16年に学内組織として設立された出版会は、大学教員の研究成果をはじめ、教養書、教科書、地域の特色や文化の紹介など活発な出版活動を行っており、設立以来の累計出版数は6月末時点で154点を数えています。また、今年6月に設立10周年を迎えたことを記念し、大学に興味を持ってもらうことを狙いとした、教職員の座右の銘や心に残る言葉とそれにまつわる想いを編み込んだエッセイ集『弘前大学で見つけた一〇七の言の葉ノート』を企画・出版するなど、さらなる事業の普及・振興に努めています。



表彰式の様子



表彰式列席者による記念撮影

## 食料科学研究所と深浦町との間で連携・協力に関する協定を締結

食料科学研究所は、青森県深浦町との間で、相互の発展に資するため両者が包括的な連携のもと、農林水産物に関わる高機能ブランド化、地域資源調査、地域資源研究開発及び新産業創出等の分野において相互に連携・協力する協定を平成26年7月22日に締結しました。

深浦町役場で行われた協定書調印式には、深浦町から吉田町長、菊池副町長、坂本教育長が、本学から大河原社会連携担当理事・副学長、羽田副理事、嵯峨食料科学研究所長が出席し、吉田町長と嵯峨食料科学研究所長が協定を締結しました。

調印にあたって、吉田町長からは、「少子高齢化・過疎化に伴う人口減少の対応策として、本協定の締結により産学官連携を強めて、地域振興を加速させたい。」と、嵯峨食料科学研究所長からは、「自然豊かな深浦町で、①マグロのブランド力推進、②サーモン養殖の可能性調査、③モズク・エゴノリ等の未・低利用海藻の高機能ブランド化の3つのプロジェクトを進めたい。」とそれぞれ挨拶がありました。また、大河原社会連携担当理事・副学長からも「深浦町は、教育、研究、地域活性化の点で大変魅力的な地域であり、本協定の締結に感謝している。」と挨拶がありました。

これまでも、深浦町とは様々な協力関係を進めてきましたが、食や地域貢献に関する協力を加え、更なる連携を図っていくことが期待されます。



協定書締結の様子



## 平成26年度「科学者発見プロジェクト」 テーマ賞表彰式及び第6回共同研究体験発表会を開催

7月30日（水）、創立50周年記念会館において、平成26年度「科学者発見プロジェクト」テーマ賞の表彰式を開催しました。本事業は、日常のささいな「疑問や興味、アイデア等」を青森県内の小・中・高の児童・生徒から広く募集し、その提案に基づいた研究テーマを本学の研究者と共に体験する双方向的な試みであり、本学の地域貢献の一環として平成20年度より実施しています。

応募された中から、発展性、意外性、独創性に優れた研究テーマを選考し、教育学部附属小学校の「なぜソーラーパネルは光の種類によって、動いたり、動かなかったりするのだろうか？」をはじめ、9件（小学校3件、中学校3件、高校3件）が「テーマ賞」に採択されました。表彰式では、佐藤学長から表彰状が授与された後、研究テーマ毎に教員から送られた激励のコメントが紹介されました。そして、学校関係者及び保護者などが見守るなか、受賞者を代表し、青森県立弘前南高等学校1年の東海 峻也さんから、受賞へのお礼の言葉と今後の共同研究に対する決意の言葉がありました。

引き続き、第6回共同研究体験発表会が行われ、柏倉研究担当理事の挨拶の後、昨年度共同研究を実施した「ブーメランを投げたらなぜ、もとの位置に帰ってくるのか」（青森市立浦町中学校）等6件の研究成果の発表が行われました。その充実した発表内容は未来の科学者を期待させるものであり、共同研究体験を通じて「関心を探求するプロセス」を研究者と共に体験することで、大学をより身近に感じてもらうよい機会となりました。



佐藤学長による挨拶



佐藤学長から表彰を受ける小学生



受賞者代表挨拶の様子



共同研究体験発表をする中学生

---

## 「入試改善のための講演会」を開催

7月31日（木）、株式会社進研アドから講師を招き、「入試改善のための講演会」を開催しました。この講演会は今年で7回目の開催となり、佐藤学長、伊藤教育担当理事、吉澤企画担当理事、各学部長や入試担当教職員など約40名が参加しました。講演会では、平成26年度入試における志願者の傾向や、平成27年度以降の動向、新入生に実施したアンケート結果に関する分析結果が紹介され、志願者獲得のための戦略などについて参加者との活発な意見交換が行われました。



講演会の様子

---

## ■ 諸 会 議

### ▼役員会

7月7日（月）

#### 審議事項

- 1 国立大学法人弘前大学職員懲戒等委員会において調査・審査すべき事案について
- 2 弘前大学の将来ビジョン（原案）について
- 3 「研究院（仮称）」の設置について
- 4 競争的資金獲得向上対策費について
- 5 東京事務所の機能強化について
- 6 教員人事について

#### 報告事項

- 1 大規模新築・改修工事の進捗状況について
- 2 平成26年度弘前大学国際連携推進事業の公募について
- 3 平成26年度「科学者発見プロジェクト」テーマ賞表彰式等について
- 4 八戸サテライト客員教授（地域共同研究センター非常勤講師）の採用について

7月28日（月）

#### 審議事項

- 1 弘前大学将来ビジョンについて
- 2 寄附金等の資金提供に係る情報公開について
- 3 戦略的経費（教育戦略）について
- 4 COI研究推進機構教員（講師）の選考について
- 5 弘前大学 COI研究推進機構規程改正について
- 6 被ばく医療総合研究所 RI設備について

#### 報告事項

- 1 平成25事業年度に係る業務の実績に関するヒアリングについて
- 2 平成26年度寄附金受入状況について
- 3 平成26年度弘前大学学術特別賞の公募について
- 4 平成26年度弘前大学機関研究の選考結果について
- 5 平成26年度科研費獲得支援事業の決定について
- 6 弘前大学グローバル人材育成事業タスクチーム等の設置について
- 7 2014年度弘前大学シニアサマーカレッジの開催について
- 8 学園都市ひろさき高等教育機関コンソーシアム 平成26年度共通授業の開催について
- 9 平成26年度弘前大学男女共同参画シンポジウム「家族を看護・介護するとき」の開催について
- 10 あおもり学プログラム・フェロー（研究員）募集について

### ▼教育研究評議会

7月8日（火）

#### 報告事項

- 1 教員の採用等について
  - 2 八戸サテライト客員教授（地域共同研究センター非常勤講師）の採用について
  - 3 平成26年度総合文化祭の実施について
  - 4 オープンキャンパスの実施協力について
  - 5 弘前大学出版会設立10周年記念講演会・祝賀会について
  - 6 日本図書館協会選定図書（第2907回）について
  - 7 競争的資金獲得向上対策費について
-

---

8 委員会等報告

- (1) 教育委員会
- (2) 21世紀教育センター運営委員会
- (3) 教員免許状更新講習支援室運営委員会・教員免許状更新講習実施委員会
- (4) 企画委員会報告

9 その他

- (1) 一般財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会と弘前大学との協定締結について

▼教育委員会

7月23日（水）

審議事項

- 1 卒業生・企業等アンケート調査の実施について
- 2 その他

報告事項

- 1 弘前大学大学院振興基金の選考結果について
- 2 障害学生への修学支援に関するアンケートについて
- 3 平成26年度東北地区大学体育大会本学主管競技の結果について
- 4 平成26年度女性のための防犯教室について
- 5 課外活動団体の結成について

その他話題

- 1 ラボインターンシップ（研究室体験）の実施状況について
- 2 「国立岩手山青少年交流の家」からの資料提供

▼研究委員会

7月18日（金）

審議事項

- 1 平成26年度弘前大学学術特別賞の公募について

報告事項

- 1 平成26年度弘前大学機関研究の選考結果について
  - 2 平成26年度科研費獲得支援事業の決定について
  - 3 平成26年度競争的資金獲得向上対策費の配分基準について
  - 4 平成26年度弘前大学国際連携推進事業の公募について
  - 5 平成26年度「科学者発見プロジェクト」テーマ賞及び表彰式等について
  - 6 地域共同研究センター運営委員会の報告について
  - 7 その他
-



# 人 事 異 動

## [採用]

発 令 年 月 日	現 職 (所属)	氏 名	異 動 内 容
平成26年7月1日		麓 敏 雄	助教 (医) [H31. 6. 30まで]
平成26年7月1日		陳 内 嘉 浩	助手 (医) [H31. 6. 30まで]
平成26年7月1日		田 村 良 介	助手 (病) [H31. 6. 30まで]
平成26年7月1日		石 橋 祐 介	助手 (病) [H31. 6. 30まで]
平成26年7月1日		木 村 俊 郎	助手 (病) [H31. 6. 30まで]

## [昇任]

発 令 年 月 日	現 職 (所属)	氏 名	異 動 内 容
平成26年7月1日	助教 (医)	木 村 憲 央	講師 (病) [H33. 6. 30まで]

## [命]

発 令 年 月 日	現 職 (所属)	氏 名	異 動 内 容
平成26年7月1日	教授 (医)	藏 田 潔	附属図書館医学部分館長 [H28. 6. 30まで]
平成26年7月1日	教授 (白神)	石 川 幸 男	白神自然環境研究所副研究所長 [H27. 3. 31まで]

## [休職]

発 令 年 月 日	現 職 (所属)	氏 名	異 動 内 容
平成26年7月1日	一般職員 (教育)	庄 司 晋 矢	復職
平成26年7月6日	准教授 (国際教育セ)	小 山 宣 子	休職開始 [H26. 7. 31まで]
平成26年7月11日	教授 (人文)	作 道 信 介	休職延長 [H26. 10. 16まで]
平成26年7月23日	教諭 (教育・附小)	高 渕 美 千 代	復職

## [育児休業]

発 令 年 月 日	現 職 (所属)	氏 名	異 動 内 容
平成26年7月1日	一般職員 (病院・総務)	丸 山 ひ か り	職務復帰
平成26年7月1日	看護師 (病院・看護)	小 杉 麻 里 子	育児休業開始 [H27. 9. 30まで]
平成26年7月4日	助教 (保健学)	横 田 ひ ろ み	育児休業開始 [H26. 9. 30まで]

発令 年月日	現職（所属）	氏名	異動内容
平成26年7月1日	一般職員（病院・総務）	丸山 ひかり	職務復帰
平成26年7月1日	看護師（病院・看護）	小杉 麻里子	育児休業開始〔H27.9.30まで〕
平成26年7月7日	一般職員（総務・人事）	栗 林 航	育児休業開始〔H26.8.31まで〕
平成26年7月13日	看護師（病院・看護）	蒔 苗 文子	育児休業開始〔H27.3.31まで〕
平成26年7月24日	看護師（病院・看護）	西村 志津恵	育児休業開始〔H27.9.30まで〕
平成26年7月27日	看護師（病院・看護）	稲葉 俊哉	職務復帰
平成26年7月31日	看護師（病院・看護）	成田 薫子	育児休業開始〔H28.3.31まで〕

〔介護休業〕

発令 年月日	現職（所属）	氏名	異動内容
平成26年7月1日	教授（人文）	城本 るみ	職務復帰

〔離職〕

発令 年月日	現職（所属）	氏名	異動内容
平成26年7月15日	看護師（病院・看護）	奥崎 さおり	辞職
平成26年7月31日	講師（医）	成田 雄一郎	辞職
平成26年7月31日	助教（医）	谷 利 樹	辞職

---

## ■ 主要日誌

- 7月4日 第1回市民ボランティア講座「災害ボランティアー KOBE から東日本へ、そして」  
弘前大学出版会設立10周年記念講演会・祝賀会
- 7日 役員会
- 8日 教育研究評議会  
第2回弘前大学 COI 特別講演会
- 9日 平成26年度弘前市私費留学生就学援助金支給決定書授与式
- 14日 第5回弘前大学出版会賞表彰式
- 18日 研究委員会
- 22日 食料科学研究所と深浦町との間で連携・協力に関する協定を締結
- 23日 教育委員会
- 28日 役員会
- 30日 平成26年度「科学者発見プロジェクト」テーマ賞表彰式  
及び第6回共同研究体験発表会
- 31日 入試改善のための講演会

---

## ■ 学内規則

(平成26年7月14日一部改正)

### ○国立大学法人弘前大学教員業績評価実施要項

平成25年度に研究・イノベーション推進機構及びC O I 研究推進機構を設置したことに伴い、同機構会議及び関連する会議等への出席について、教員業績評価における管理運営分野の評価項目を設定するため、上記の要項の一部を改正した。



## 弘前大学学報第124号

弘前大学総務部広報・国際課  
036-8560 弘前市文京町 1  
電話 (0172) 36-2111